

熊取町における公共交通の課題について

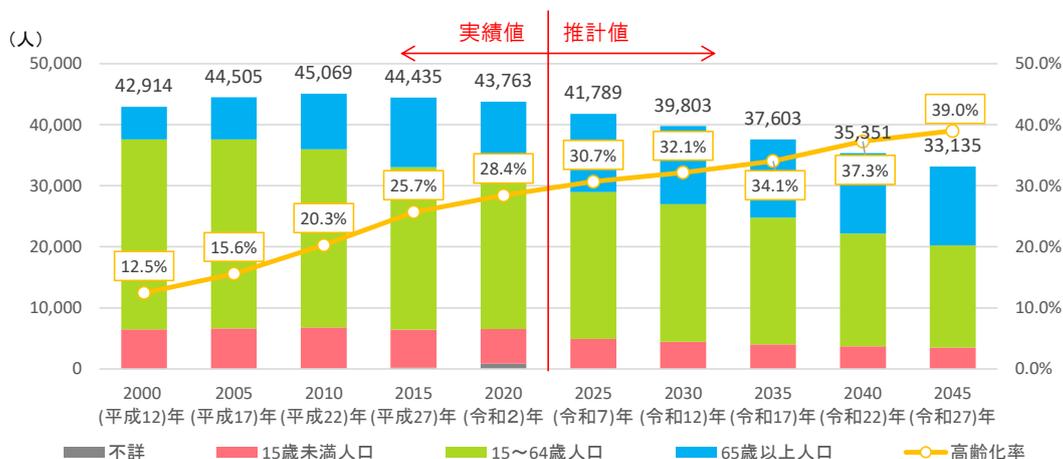
1. 熊取町の公共交通の課題（案）

課題1：路線バス・ひまわりバス・タクシー等による持続可能な地域公共交通ネットワークの維持

本町の人口は2010（平成22）年以降減少傾向にあり、公共交通利用者についても、新型コロナウイルスの影響により利用者が大きく減少し、その後回復傾向にあるものの、新しい生活様式への変化等の影響で、今後、一定以上の回復は見込めないことが想定されます。

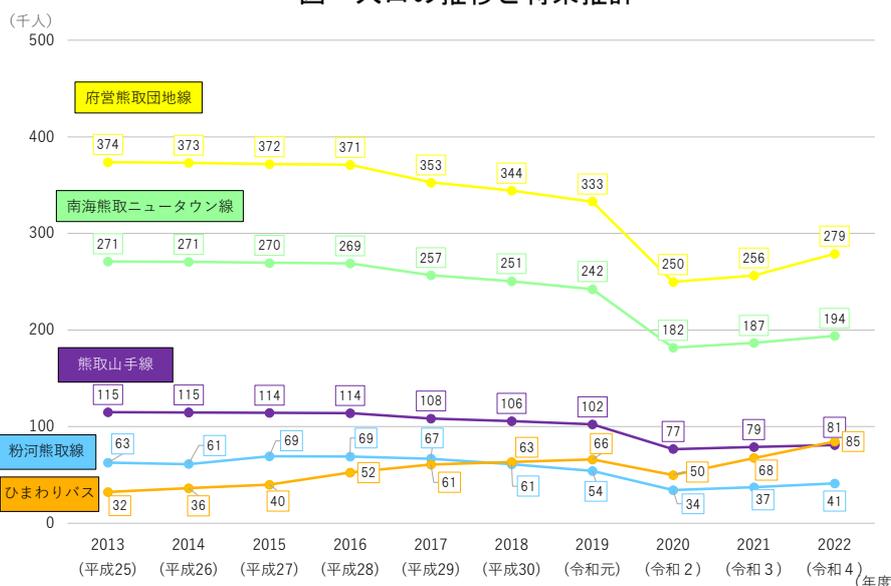
一方、ひまわりバスにおいては2021（令和3）年度より新型コロナウイルス感染症対応のための熊取町版緊急生活・経済支援として運賃の無償化を実施したこともあり、2020（令和2）年度を除くと利用者は増加傾向にあります。

公共交通の課題を明らかにしたうえで、町民の移動を支える持続可能な地域公共交通ネットワークの維持・形成に向けた取組みを進めていくことが重要となります。



資料：国勢調査（～2020（令和2）年）、国立社会保障・人口問題研究所（2025（令和7）年～）

図 人口の推移と将来推計



資料：熊取町統計（各年度）

図 路線バス乗車客数の推移（事業者別）

課題2：住民、交通事業者、行政等の連携と適切な役割分担

人口減少等による路線バス、タクシー等の地域公共交通利用者の減少、運転手の高齢化・担い手不足、車両老朽化や燃料高騰等による運行費用の増加、また、ひまわりバス事業における費用増加等による町の財政負担増加等、公共交通を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

加えて、本町の公共交通ネットワークは、路線バスとひまわりバスの運行ルートの大部分が重複しており、競合による利用者の減少に伴る収益減少により、路線の減便または、廃止につながる可能性もあります。

このように、各公共交通維持の困難さが増すなかで、住民、交通事業者、行政等の関係者が連携し、それぞれの交通資源が担う役割を明確化、役割分担したうえで、目的に応じたサービスの提供や利用促進を行うことが重要となります。

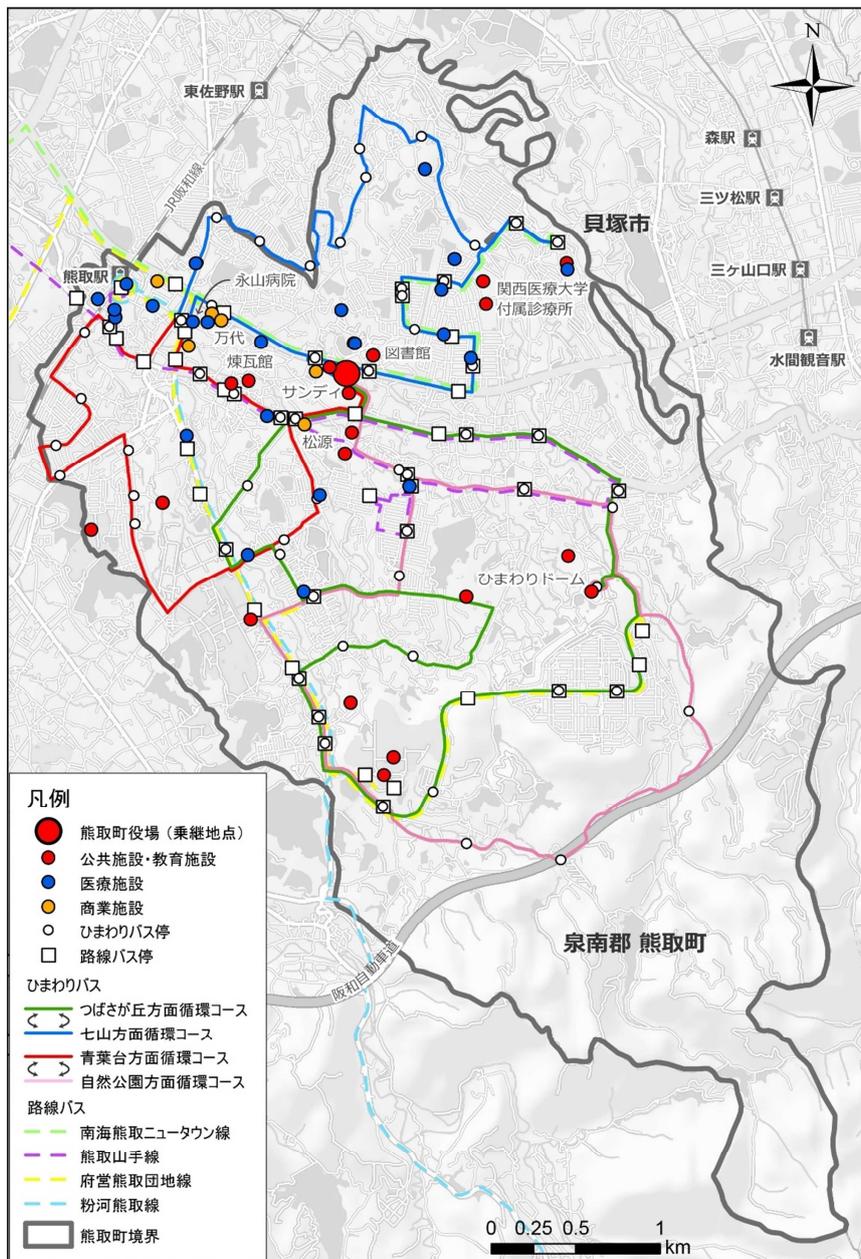


図 現在の地域公共交通ネットワーク